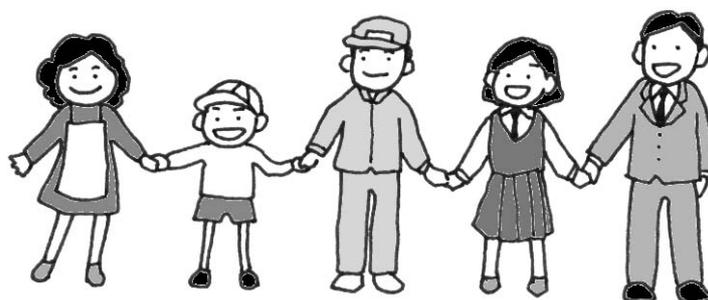


柏市環境基本計画

平成22年度 環境報告書

(事業報告書)



～ 共に生きるために、環境を守り、育て、伝えるまち 柏 ～

本書は、柏市環境基本条例第9条第6項の規定により、環境基本計画に基づき実施された事業の取組状況について、年次報告書として作成し、公表するものです。

柏市

目次

I	柏市環境基本計画の概要	1
II	平成22年度実施結果の概要	8
III	実施事業の進捗状況	
	1. 自然環境－残された貴重な自然を守る－に関する事業	11
	2. 生活環境－暮らしの中で環境をいたわる－に関する事業	14
	3. 快適環境－快適な環境をつくる－に関する事業	29
	4. 地球環境－地球市民としての意識を育む－に関する事業	33
	5. 市民との協働－市民とともにつくる環境－に関する事業	39

I 柏市環境基本計画の概要

柏市では、環境に関する課題を解決するため、平成9年3月に「柏市環境基本計画」を策定し、平成15年3月に同計画の見直しを行い、新たな環境に関する課題の解決のための取組みを行ってきました。

平成17年3月に柏市と沼南町が合併したことや、平成15年の計画改訂から5年が経過し、解決すべき新たな環境課題が見られることから、平成21年3月に同計画を改訂しました。

1 計画の目的

本計画は、柏市環境基本条例第9条に基づき、市民、事業者、市の役割を明らかにし、3者が、相互に協働しながら積極的な取組を促進することを目的として以下の点について明らかにしていきます。

- ① 環境保全及び創造に関する柏市の将来像
- ② 目標を達成するための総合的かつ長期的な施策の方向性
- ③ 市民、事業者、市それぞれの取組
- ④ 計画の進行を管理するための推進方策

2 計画の期間

- ・本計画の期間は、平成21年度から平成27年度（2015年度）までとします。
- ・ただし社会情勢の変化、科学技術の進歩、総合計画の改訂などに合わせて必要な見直しを行います。
- ・また、環境問題は長い年月を通して影響が現れたり、対策の効果が見られることから、地球温暖化対策など長期的な視野が必要となる分野について、本計画期間にこだわらず、長期的な展望を描くものとします。

3 対象とする環境の範囲

本計画は、柏市環境基本条例第 2 条に基づき、身の回りの環境から地球環境まで幅広い意味での環境を対象としています。

環境	対象となるもの
自然環境	生物、生態系、水域、緑地等の地形等自然的要素
生活環境	人の生活、活動に伴い環境に変化を与える要素 いわゆる典型 7 公害（大気、水質、騒音、振動、悪臭、土壌、地盤沈下）及び環境負荷関連要素（化学物質、資源循環、廃棄物等）
快適環境	自然環境の回復の条件の創出、良好な生活環境の整備等環境の創造要素 都市の緑化、水辺の整備、都市景観等
地球環境	人の活動が地球規模の環境に影響を与える要素 地球温暖化、オゾン層破壊、酸性雨、海洋汚染、野生生物の種の減少等

4 市民、事業者、民間団体、市の基本的役割

望ましい環境像を実現するためには、各主体が、それぞれ自主的な取組を推進するとともに、各主体が協働していくことが欠かせません。

そこで、各主体の役割について、次のとおり基本的な考え方を示します。

①市民

市民は、残された貴重な環境をこれからも守り、さらに良い環境を次世代へ伝えるために、より積極的に行動します。

②事業者

事業者は、事業活動や廃棄物の処理によって公害が生じないようにするとともに、地域の自然環境や生活環境を積極的に保全します。

③民間団体

民間団体は、環境保全活動を実践するとともに、市民、事業者、市の環境保全活動を支援します。

④市

市は、市民、事業者、民間団体と協働して、環境に関する施策を策定し、実施します。また、国や他の地方自治体との連携も図ります。

5 望ましい環境像と基本目標

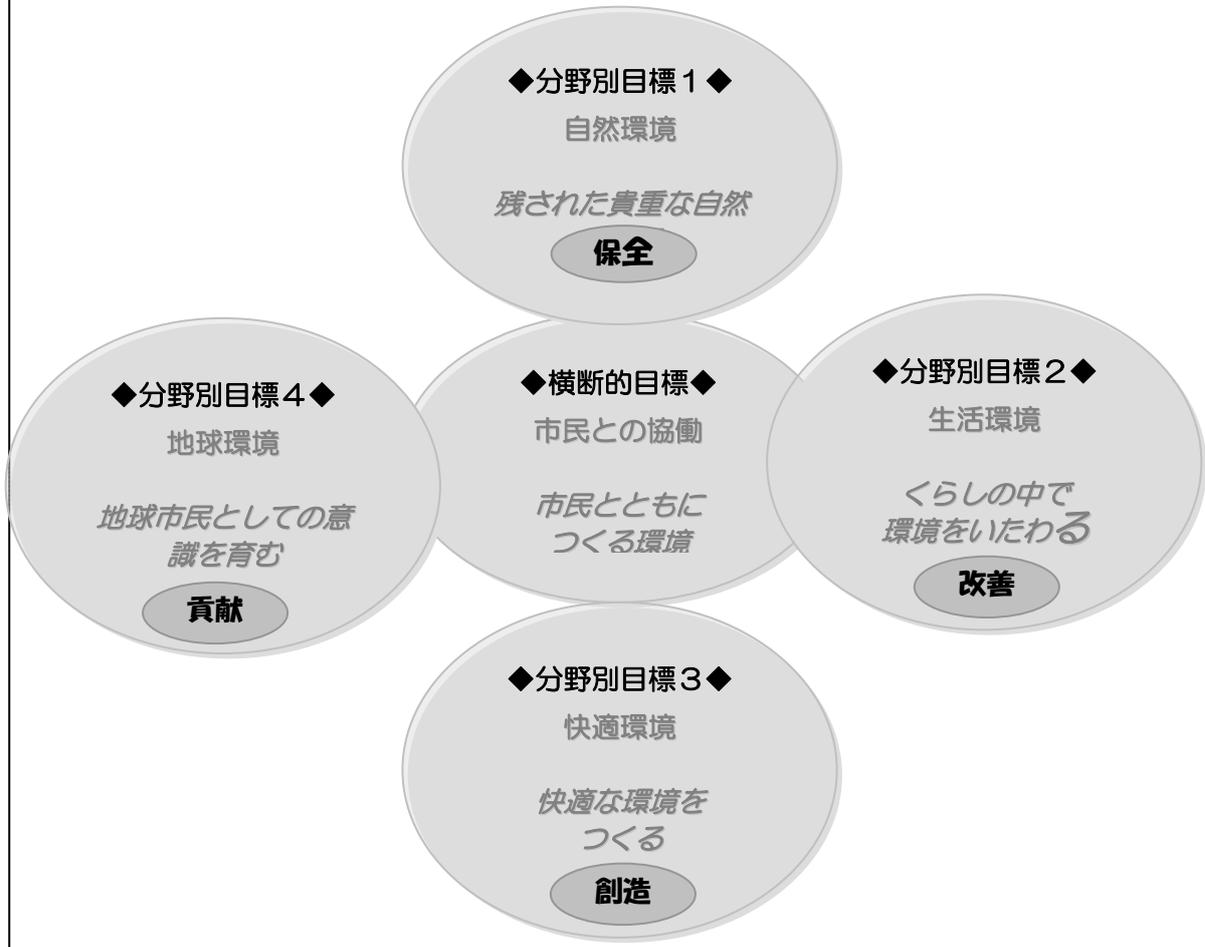
《望ましい環境像》

共に生きるために、環境を守り、育て、伝えるまち

すべての市民が、自然とのよい関係を永遠（とわ）に保てるよう、共に活動して環境を守り、安全な環境の中で自然と共に暮せるまちを育み、明日の柏を担う人々に伝える、そのようなまちを目指します。

この望ましい環境像の実現に向けて、本計画の環境の対象範囲である「自然環境」、「生活環境」、「快適環境」、「地球環境」の4つの分野別目標と、それらの分野別目標を達成するための手法や手段の方向性を示した横断的目標を設定して、5つの基本目標とします。

《5つの基本目標》



6 重点プロジェクト

本市の環境特性や昨今の社会動向を踏まえて、以下の3つを重点プロジェクトとして位置づけ、優先的に推進していきます。

重点 プロジェクト①

水と親しみ、水と歩むまちプロジェクト

柏市には、利根川、利根運河、大堀川、大津川、染井入落、金山落、坂川の7河川と、手賀沼があり、水と親しむ場に恵まれたまちです。

かつて手賀沼は、27年連続で全国湖沼の水質ワースト1となってきましたが、千葉県「手賀沼に係る湖沼水質保全計画」などに基づく、整備・対策事業により、その水質は大幅に改善されています。しかし、湖沼の汚濁状況を図るCOD（化学的酸素要求量）は、平成19年度においても環境基準を達成できておらず、引き続き対策を講じる必要があります。また、水辺は、多様な生物の生息空間となっているほか、私たちの生活に潤いと安らぎなどを与えてくれます。

このような柏の地域的な特徴である水辺に関する事業のうち、水辺と人がふれあう事業を、『水と親しみ、水と歩むまちプロジェクト』として重点的に推進していきます。

重点 プロジェクト②

3R推進プロジェクト

柏市では、ごみ減量、分別、再資源化などの啓発により、市民一人一日当たりのごみ排出量は、全国平均より低くなっています。しかし、事業所の増加に伴い、事業所一日当りの事業系ごみ排出量は増加傾向にあり、また、資源化率も横ばい傾向にあります。

大量生産、大量消費、大量廃棄のライフスタイルによって、あたかもエネルギーや資源などを無限なもののように使用してきましたが、エネルギーの源となる資源は限りあるものであるため、大切に使用していく必要があります。また、ごみが大量に排出されると、その焼却に伴い、温室効果ガスが排出され、地球温暖化へも影響をもたらします。

重点 プロジェクト③

省CO₂ひとづくり・まちづくりプロジェクト

環境問題の中でも、地球温暖化は、地球の存続をも脅かすものとして、その対応策が、国際的にも早急に必要とされている問題です。

その対策方法には、まちづくりや施設・設備改修などハード的なものと、日常的な省CO₂の取組などソフト的なものがあり、共に推進していく必要があります。

柏市では、平成20年3月に「柏市地球温暖化対策計画」を策定し、具体的な温暖化対策に関する事業方針などを示し、取組を推進しています。

その中でも、未来を担う子どもを含め、全ての柏市民が地球温暖化対策に取り組むことができるような事業を『省CO₂ひとづくりプロジェクト』として、土地利用の再編や市街地再開発事業を利用し、建築物の省エネルギー化や新エネルギーの活用を行い、地域の温室効果ガス排出量の削減を目指すための行動計画を『省CO₂まちづくりプロジェクト』として、重点的に推進していきます。

7 推進体制

(1) 環境審議会

柏市環境審議会は、市民や事業者の代表、学識経験者からなり、環境基本計画の推進策や環境の保全及び創造に関する基本的な事項を審議します。

(2) 環境管理推進会議

環境管理推進会議は、庁内に設置し、管理対象とする目標の設定やシステムの進捗状況について審議します。

(3) 内部環境監査委員会

内部環境監査においては、システムが適切に運用され、かつ効果的に運用されているかを、市職員がお互いに監査します。

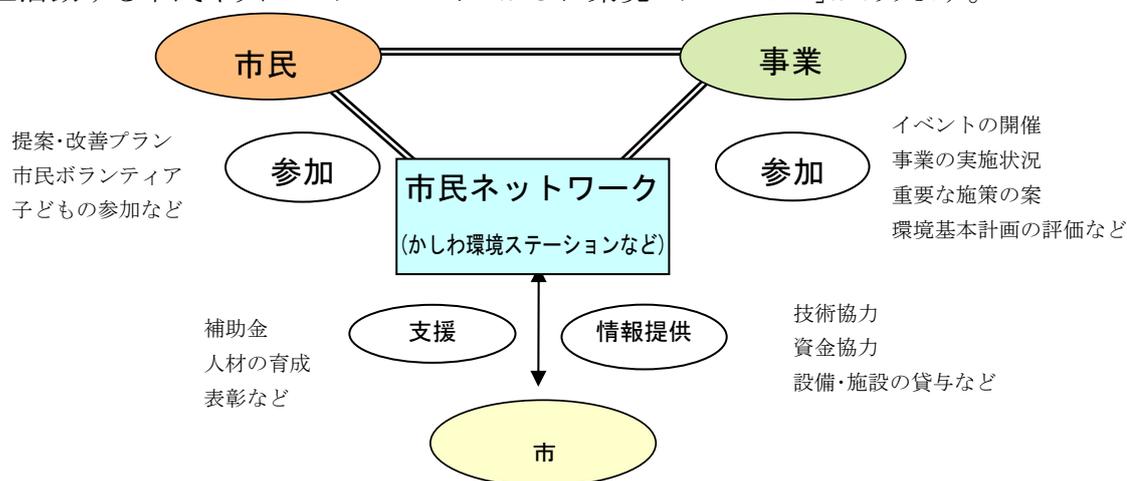
(4) 外部環境監査委員会

外部環境監査においては、システムが有効に運用されているかを、専門的知見を持つ第三者が監査します。

(5) 市民ネットワーク

市民ネットワークは、市民、事業者、民間団体によって組織され、市と協働して、環境の保全及び創造に関する行動の実践や環境基本計画の進捗の評価などを行い、まちぐるみでの計画推進の中核として活動します。

現在活動する市民ネットワークの一つに「かしわ環境ステーション」があります。



市民ネットワークのイメージ図

(6) 広域的な連携, 協力の推進

手賀沼の水質や自動車交通に起因する大気汚染など、県や近隣市との連携が必要な環境問題に対して協力して取り組んでいきます。

環境基本計画実施計画一覧

基本目標	基本方針	施策の方向性	実施事業	事業番号	ページ	
自然環境 残された貴重な自然を守る	柏の自然を活かした多様な生物生息空間の保全と復元	農地や樹林地の保全	開発事業者への指導	1	11	
			緑地保全事業	2	12	
	柏の貴重な種の保護・保全	貴重な種の保全	水辺とその周辺緑地に生息する多様な生態系の保全	開発事業者への指導	1	11
			貴重種への指導	1	11	
			柏市生きもの多様性プラン	3	13	
特定外来種対策	特定外来生物の駆除・対策	4	13			
生活環境 くらしの中で環境をいたわる	きれいな水環境の再生と保全	手賀沼の浄化	合併処理浄化槽補助事業	6	14	
			水洗化の普及啓発	7	15	
			公共下水道の整備	8	15	
			生活排水対策啓発事業	9	16	
		河川の水質の保全	水質汚濁に係る規制・指導	10	17	
			水質常時監視	11	17	
	環境への負荷が少ない社会の形成	大気汚染対策の推進	大気汚染に係る規制・指導	12	18	
			大気常時監視	13	19	
			野焼きの規制	14	19	
			沿道の緑化	15	19	
		自動車交通対策の推進	アイドリング・ストップの推進	16	20	
			窒素酸化物に係る冬期対策	17	20	
			低公害車の普及促進	18	21	
			柏駅東口交通改善事業	19	22	
			かしわ乗合ジャンボタクシー及びかしわコミュニティバスの運行	20	22	
		有害化学物質の排出抑制	ダイオキシン類総合対策	21	23	
			土壌汚染対策	22	23	
			地下水汚染対策	23	24	
			揮発性有機化合物の排出抑制	24	24	
		その他生活環境負荷低減の推進	地下水採取の規制	25	25	
			埋立事業の規制	26	25	
	産業廃棄物の不適正な処理の監視		27	25		
	産業廃棄物処理施設の規制・指導		28	26		
	騒音・振動・悪臭に係る規制・指導		29	26		
	浄化槽に係る規制・指導		30	26		
	資源循環型社会の形成	省資源・省エネルギーの推進	グリーン購入調達方針の取組	31	27	
			3R（廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用）の推進	32	28	
		自然の水循環の確保と増進・樹林地の保全	ごみ減量資源化	33	28	
			園芸用廃プラスチックの処理	33	28	
	湧水の保全	34	28			

基本目標	基本方針	施策の方向性	実施事業	事業番号	ページ	
快適環境 快適な環境をつくる	ゆう水, 雑木林, 農地などを活かした快適環境の整備	公園の整備と樹林地の保全・活用	柏リフレッシュ公園整備事業	35	29	
			旧吉田邸整備事業	36	29	
		農地や里山・里地の活用	市民農園の整備	37	30	
			援農システム推進事業	38	30	
		環境美化の推進	ぼい捨て防止及び路上喫煙禁止	39	31	
			不法投棄防止の推進	40	32	
地球環境 地球市民としての意識を育む	地球環境の保全	温室効果ガス排出量の削減	環境保全協定の締結	41	33	
			柏市地球温暖化対策計画の推進	42	34	
			ストップ温暖化サポート(SOS)事業	43	34	
			低炭素まちづくり事業	44	35	
			柏市エコアクションプランの推進	45	36	
			柏市地球温暖化対策補助	46	37	
			屋上・壁面緑化の指導	47	37	
			柏市総合交通計画の策定	48	38	
		その他地球環境保全対策の推進	地球環境保全の啓発	49	38	
		市民との協働 市民とともにつくる環境	市民・事業者の主体的な活動の推進	市民参加型環境保全事業の推進	名戸ヶ谷湧水ビオトープの活用	50
酒井根下田の森の管理	51				40	
市民・事業者による環境を中心としたまちづくりの推進	環境配慮指針の作成			52	40	
	環境配慮の仕組みづくり			53	40	
市民活動の育成・支援	こどもエコクラブの推進			54	40	
	環境活動リーダーの育成			55	41	
	ISO認証取得の支援			56	41	
市民ネットワークの確立と拠点整備	市民ネットワークの設立			57	42	
次世代を担う子どもたち, 現世代を支えている人たちへの環境教育の充実	学校における環境学習の推進			学校環境学習の支援	58	42
				省エネ意識の高揚と啓発	59	43
	地域社会における環境学習の推進		環境の月事業	60	43	
			自然環境啓発事業	61	43	
			地域環境学習の支援	62	44	
			ごみ減量啓発	63	44	
	環境に関する情報の提供と共有化		環境情報の提供	64	45	
県や近隣市との連携	県や近隣市町との連携による環境保全対策の推進		手賀沼水環境保全協議会	65	46	
環境基本計画の推進と評価システムの構築	総合的な環境行政の推進		環境基本計画の推進	66	47	
	環境マネジメントシステムの継続的な運用		環境マネジメントシステムの推進	67	47	
	年次報告の作成・市民意見の反映		環境白書・年次報告書の作成	68	48	
			市民意見の反映	69	48	

Ⅱ 平成22年度実施結果の概要

本計画では、基本目標を達成するための共通した方向性を示す方針として12の基本方針を定め、この基本方針に基づき施策を推進しています。

平成22年度においては、柏市環境基本計画に沿って73項目の事業について取り組み、環境マネジメントシステムにより進捗管理しました。

また、重点プロジェクトとして16項目の事業を優先的に実施しました。

基本方針①

柏の自然を活かした多様な生物生息空間の保全と復元

本基本方針では、生物の生息空間や生態系を保全するため、2項目の事業を実施しています。

基本方針②

柏の貴重な種の保護・保全

本基本方針では、種の保護・保全のため、3項目の事業を実施しています。

基本方針③

きれいな水環境の再生と保全

本基本方針では、きれいな手賀沼を再生するため、6項目の事業を実施しています。（6項目の全事業を重点プロジェクトとして実施）

基本方針④

環境への負荷が少ない社会の形成

本基本方針では、大気汚染の防止や有害化学物質の排出抑制などを図るため、19項目の事業を実施しています。

基本方針⑤

資源循環型社会の形成

本基本方針では、省資源・省エネルギーの推進やごみの排出抑制・資源化などを図るため、5項目の事業を実施しています。（5項目のうち、2項目の事業を重点事業として実施）

基本方針⑥

ゆう水，雑木林，農地などを活かした快適環境の整備

本基本方針では、水辺や緑地の整備，歴史的・文化的資源の保全などを図るため、5項目の事業を実施しています。

基本方針⑦

魅力のある景観の形成

本基本方針では、都市景観への配慮・環境美化の推進のため、3項目の事業を実施しています。

基本方針⑧

地球環境の保全

本基本方針では、温室効果ガス排出量の削減やその他地球環境保全対策を推進するため、9項目の事業を実施しています。（9項目のうち、8項目の事業を重点プロジェクトとして実施）

なお、平成22年度の二酸化炭素等の温室効果ガス排出量（柏市役所で実施する事務事業分）は、30,438,340 kg-CO₂で、基準年に比べて5.47%減となっています。

基本方針⑨

市民・事業者の主体的な活動の推進

本基本方針では、市民参加型環境保全事業の推進や市民・事業者の環境保全活動の育成・支援などを図るため、8項目の事業を実施しています。

基本方針⑩

次世代を担う子どもたち、現世代を支えている人たちへの環境教育の充実

本基本方針では、学校・地域社会における環境学習を推進するとともに、環境に関する情報の提供と共有化を図るため、7項目の事業を実施しています。

基本方針⑪

県や近隣市町との連携

本基本方針では、県や近隣市と連携し、広域的な環境問題に取り組むため、1項目の事業を実施しています。

基本方針⑫

環境基本計画の推進と評価システムの構築

本基本方針では、環境基本計画を確実に推進し、その結果を的確に評価するシステムを構築するため、4項目の事業を実施しています。

Ⅲ 実施事業の進捗状況

基本方針・・・基本目標を達成するため、取組を推進していくための基本的な方針
 環境指標・・・基本目標の進捗状況を定量的に把握し、進行管理をしていくため、基本方針ごとに設定された指標
 実施事業・・・基本目標を達成するため、特に取り組むべき施策として位置づけた事業
 ※22年度事業費は人件費を含む経費で、全ての項目において事業費を掲載。

基本目標（分野別目標①）

自然環境—残された貴重な自然を守る

『豊かで魅力ある自然環境を守り、生物多様性の確保に努めます。』

基本方針①

柏の自然を活かした多様な生物生息空間，生態系の保全と復元

区分	指標の項目	環境指標	計画策定時	目標数値
対策	多様な生物生息空間の復元・回復	整備した学校ビオトープの数	累積4校 (平成19年度)	累積6校 (平成27年度)

実施事業の進捗状況（2事業）

No.	1	
実施事業名	開発事業者への指導	担当部署 環境保全課
事業内容	環境への影響を及ぼすおそれのある宅地開発事業等について、環境配慮指針等の配布等により、事前協議の際に指導する。また、環境配慮報告書の提出を依頼する。	[22年度事業費：860千円] 開発事業者への指導 20年度 58件 21年度 41件 22年度 71件

No.	2		
実施事業名	緑地保全事業	担当部署	公園緑政課
事業内容	市民の生活に必要と認められる緑を保護するため、緑の保護地区、保護樹木を指定する。	目標値	1. 緑の保護地区面積 78ha 2. 保護樹木本数 209本
		実績	[22年度事業費：7,511千円] 1. 緑の保護地区面積 20年度 77.2ha 21年度 76ha 22年度 79ha 2. 保護樹木本数 20年度 199本 21年度 197本 22年度 196本 【目標未達成の理由】 2 所有者の相続等により保護樹木の解除があった。

基本方針② 柏の貴重な種の保護・保全				
対策	貴重な種の保全	環境省貴重種の確認種数	30種 (平成19年度)	30種 (平成27年度)
対策	貴重な種の保全	千葉県貴重種の確認種数	178種 (平成19年度)	178種 (平成27年度)

実施事業の進捗状況（3事業）

No.	3		
実施事業名	柏市生き物多様性プラン	担当部署	環境保全課
事業内容	柏市の多様な生き物が生息する豊かな自然環境を守るため、「柏市生き物多様性プラン」を策定する。また、このプランに基づき、生物多様性保全のための取り組みを行っていく。	実績	[22年度事業費: 3,799千円] 平成22年度 プラン策定

No.	4		
実施事業名	こんぶくろ池自然拠点整備事業	担当部署	公園緑政課
事業内容	千葉県環境会議の提言等を受けて、湧水、湿性環境及びその周辺の樹林地を保全及び活用し、ヒートアイランド現象の緩和など都市生活環境の向上や動植物の保護・増殖などを目的に、約18.5haのこんぶくろ池公園を整備する。	目標値	整備率 48%
		実績	[22年度事業費: 1,397,124千円] ・整備率 20年度 35.4% 21年度 48.2% 22年度 57.5%

No.	5		
実施事業名	特定外来生物の駆除・対策	担当部署	環境保全課
事業内容	特定外来生物(アライグマ・カミツキガメ)の調査・捕獲	実績	[22年度事業費: 860千円] ・捕獲 カミツキガメ 1頭

基本目標（分野別目標②）

生活環境—くらしの中で環境をいたわる

『安全で健康に暮らせる生活環境をつくり、環境への負荷の少ない循環型社会の形成に努めます。』

基本方針③

きれいな手賀沼の再生と保全

区分	指標の項目	環境指標		計画策定時	目標数値
状態	手賀沼の浄化	手賀沼のCOD値 (沼中央 COD75%値)		9.7mg/ℓ (平成 19 年度)	5mg/ℓ以下 (平成 27 年度)
状態	河川の水質の保全	BOD75%値	北柏橋	4.2mg/ℓ (平成 19 年度)	4.2mg/ℓ以下 (平成 27 年度)
			上沼橋	3.8mg/ℓ (平成 19 年度)	3mg/ℓ以下 (平成 27 年度)

実施事業の進捗状況（6事業）

No.	6			
実施事業名	合併処理浄化槽補助事業		担当部署	環境保全課
事業内容	公共下水道が整備されていない地域を対象に生活排水対策の一環として、合併処理浄化槽設置の補助制度を設け補助事業を実施する。	目標値	補助基数 23基	
	補助対象は汲み取り便所、又は単独浄化槽を撤去し合併処理浄化槽を設置するもの。	実績	〔22年度事業費：14,664千円〕 補助基数 20年度 33基 21年度 29基 22年度 23基	

No.	7		
実施事業名	水洗化の普及啓発	担当部署	下水道維持管理課
事業内容	公共下水道が供用開始になった地域において、下水道へ未接続の建物の所有者に対し、水洗化普及員が直接訪問又は文書の配布等により下水道への接続を促す。	実績	〔22年度事業費：6,394千円〕 柏市シルバー人材センターへ水洗化普及事業を委託し、水洗化普及員による啓発を実施。

No.	8		
実施事業名	公共下水道の整備	担当部署	下水道整備課
事業内容	公共下水道の整備を進める。	目標値	下水道普及率 88.5%
		実績	〔22年度事業費：2,063,662千円〕 下水道普及率 20年度 86.4% 21年度 87.4% 22年度 88.0%

No.	9		
実施事業名	生活排水対策啓発事業	担当部署	環境保全課 消費生活センター
事業内容	<p>1. 手賀沼船上見学会 手賀沼の汚濁を船上から実感してもらい、手賀沼が汚れた理由や改善のための取組、家庭でできる浄化対策等を説明する。</p> <p>2. 洗たくセミナー（小学校の家庭科の授業等で、合成洗剤と石けんの洗い比べやそれぞれの特徴等、実習を交え学ぶ）、石けん普及キャンペーンを実施する。</p>	実績	<p>[22年度事業費：2,468千円]</p> <p>1. 船上見学会参加者数 20年度 2,874人 21年度 2,161人 22年度 2,497人</p> <p>2. 洗たくセミナー参加者数 20年度 45人 21年度 152人 22年度 153人</p> <p>石けん配布数 20年度 474個 21年度 1582個 22年度 1225個</p>

No.	10		
実施事業名	水質汚濁に係る規制・指導	担当部署	環境保全課
事業内容	水質汚濁防止法に基づき、排水規制が適用される施設を立ち入り検査し、排水基準の適合状況の把握、施設管理の徹底等の指導を行う。	目標値	立入検査（水質検査実施）事業所数 70事業所
		実績	〔22年度事業費：3,055千円〕 立入検査（水質検査実施）事業所数 20年度 46事業所 21年度 52事業所 22年度 50事業所 違反事業所数 8事業所 違反率 16.0% 【目標未達成の理由】 計画通りに立入りは実施したが、抜打ち検査であるため施設の稼動状況等から水質検査実施は50事業所にとどまった。

No.	11																								
実施事業名	水質常時監視	担当部署	環境保全課																						
事業内容	水質汚濁防止法に基づき、柏市内の公共用水域※（大堀川・大津川・手賀沼・下手賀沼等）及び地下水（市内109地点）の水質調査を実施する。 ※手賀沼は千葉県が実施	実績	〔22年度事業費：4,353千円〕 ・公共用水域の水質 (mg/l) ※数値は75%値																						
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>水域</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>環境基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手賀沼 (COD)</td> <td>9.1</td> <td>9.3</td> <td>9.6</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>大堀川 (BOD)</td> <td>4.2</td> <td>3.0</td> <td>2.5</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>大津川 (BOD)</td> <td>3.6</td> <td>3.0</td> <td>3.7</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>下手賀沼 (COD)</td> <td>9.4</td> <td>10.0</td> <td>10.0</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> ・地下水水質調査として、市内109地点の井戸を対象に、カドミウム等の環境基準健康項目について調査を実施。	水域	20年度	21年度	22年度	環境基準	手賀沼 (COD)	9.1	9.3	9.6	5	大堀川 (BOD)	4.2	3.0	2.5	8	大津川 (BOD)	3.6	3.0	3.7	5	下手賀沼 (COD)	9.4
水域	20年度	21年度	22年度	環境基準																					
手賀沼 (COD)	9.1	9.3	9.6	5																					
大堀川 (BOD)	4.2	3.0	2.5	8																					
大津川 (BOD)	3.6	3.0	3.7	5																					
下手賀沼 (COD)	9.4	10.0	10.0	5																					

基本方針④

環境への負荷が少ない社会の形成

区分	指標の項目	環境指標	計画策定時	目標数値
状態	大気汚染対策の推進	光化学オキシダントが環境基準を超えた日数	81日 (平成19年度) (大室測定局)	40日 (平成27年度)
状態	自動車交通対策の推進	国道6号, 国道16号における騒音の要請限度の適合率	50% (2/4) (平成19年度)	100% (4/4) (平成27年度)
対策	自動車交通対策の推進	低公害車普及率	9.8% (平成18年度)	20% (平成27年度)

実施事業の進捗状況 (19事業)

No.	12		担当部署	環境保全課																				
実施事業名	大気汚染に係る規制・指導																							
事業内容	大気汚染防止法に基づき、大気汚染の原因となるばい煙を発生する施設を立ち入り検査し、排出基準の適合状況を把握、施設管理の徹底等の指導を行う。	目標値	立入検査事業所数 28事業所																					
	また、同法に基づき、石綿等が使用されている建築物、工作物等の解体、改造補修作業に対して立ち入りを行い、作業時における基準の遵守状況を確認し、石綿の飛散がないよう指導を行う。	実績	〔22年度事業費：199千円〕 立入検査事業所数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>ばい煙</th> <th>石綿</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20年度</td> <td>8事業所</td> <td>14ヶ所</td> </tr> <tr> <td>ばい煙測定</td> <td>7事業所</td> <td>違反なし</td> </tr> <tr> <td>21年度</td> <td>5事業所</td> <td>10ヶ所</td> </tr> <tr> <td>ばい煙測定</td> <td>5事業所</td> <td>違反なし</td> </tr> <tr> <td>22年度</td> <td>5事業所</td> <td>9ヶ所</td> </tr> <tr> <td>ばい煙測定</td> <td>5事業所</td> <td>違反なし</td> </tr> </tbody> </table>			ばい煙	石綿	20年度	8事業所	14ヶ所	ばい煙測定	7事業所	違反なし	21年度	5事業所	10ヶ所	ばい煙測定	5事業所	違反なし	22年度	5事業所	9ヶ所	ばい煙測定	5事業所
	ばい煙	石綿																						
20年度	8事業所	14ヶ所																						
ばい煙測定	7事業所	違反なし																						
21年度	5事業所	10ヶ所																						
ばい煙測定	5事業所	違反なし																						
22年度	5事業所	9ヶ所																						
ばい煙測定	5事業所	違反なし																						

No.	13																																																				
実施事業名	大気常時監視	担当部署 環境保全課																																																			
事業内容	<p>大気汚染防止法に基づき、市内7箇所（永楽台・旭・伊勢原・西原・大室・南増尾・大津ヶ丘）に測定局を設置し、大気の常時監視を行う。</p>	<p>〔22年度事業費：36,385千円〕</p> <p>・22年度測定結果 (○適合, ×不適合, -未測定)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>測定局</th> <th>SO₂</th> <th>CO</th> <th>SPM</th> <th>Ox</th> <th>NO₂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">一般大気環境</td> <td>永楽台</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>大室</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>南増尾</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">自動車排ガス</td> <td>旭</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>伊勢原</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>西原</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>大津ヶ丘</td> <td>-</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>-</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>※SO₂(二酸化), CO(一酸化炭素), SPM(子状物質), Ox(光化学オキシダント), NO₂(二酸化 素)</p>	区分	測定局	SO ₂	CO	SPM	Ox	NO ₂	一般大気環境	永楽台	○	-	○	×	○	大室	○	-	○	×	○	南増尾	-	-	○	×	○	自動車排ガス	旭	-	○	-	-	○	伊勢原	-	-	○	-	○	西原	-	-	○	-	○	大津ヶ丘	-	○	○	-	○
区分	測定局	SO ₂	CO	SPM	Ox	NO ₂																																															
一般大気環境	永楽台	○	-	○	×	○																																															
	大室	○	-	○	×	○																																															
	南増尾	-	-	○	×	○																																															
自動車排ガス	旭	-	○	-	-	○																																															
	伊勢原	-	-	○	-	○																																															
	西原	-	-	○	-	○																																															
	大津ヶ丘	-	○	○	-	○																																															

No.	14	
実施事業名	野焼きの規制	担当部署 環境保全課
事業内容	<p>柏市ダイオキシン 発生抑制条例に基づき、焼却 設置者への指導及び野焼き行 者への指導を行う。</p>	<p>〔22年度事業費：860千円〕</p> <p>続 情件数 20年度 1件 21年度 0件 22年度 0件</p>

No.	15	
実施事業名	沿道の緑化	担当部署 道 整備課
事業内容	<p>自動車の排気ガスによる大気汚染など沿道の生活環境への配慮や、歩道通行者が を感じられ、安らぎを られるような な道 空間整備の一環として、歩道内に植 を行う。</p>	<p>〔22年度事業費：0千円〕</p> <p>沿道の緑化 20年度 0 21年度 1 22年度 0</p>

No.	16		
実施事業名	アイドリング・ストップの推進	担当部署	環境保全課
事業内容	<p>12月の地球温暖化防止月間に、大気汚染の原因となる自動車の排出ガス抑制のための啓発活動を実施する。</p> <p>主な事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横断の設置 ・広報での啓発 など 	実績	<p>[22年度事業費：58千円]</p> <p>横断の出 20年度 4箇所 21年度 4箇所 22年度 4箇所 期間12 2 28</p>

No.	17		
実施事業名	素酸化物に係る 期対策	担当部署	環境保全課
事業内容	<p>大気汚染物質が 散しにくく、大気汚染が進行しやすい 期に、素酸化物排出抑制対策として、水日をカーカーとし、公用車の使用を抑制してきたが、近年、大気中の二酸化炭素 度の日による変動が小さくなる傾向にあることから、今 は対策実施期間（11月から 年1月まで）を通した排出低減対策として下 の 期間を実施する。</p> <p>1. ばい煙発生施設等に係る対策</p> <p>(1) 適 な 焼管理及び 質 の 使用</p> <p>(2) 低い暖 温度の設定</p> <p>2. 自動車の使用抑制対策</p> <p>(1) 業務用車 の使用抑制</p> <p>(2) アイドリングストップの実施</p> <p>(3) 都県市指定低公害車・ 新規制 適合車の優先利用</p> <p>(4) 員の自家用車による通 自</p>	実績	<p>[22年度事業費：860千円]</p> <p>事業内容について、事業所に文書にて協力を依頼。149事業所に発 した。</p>

No.	18			
実施事業名	低公害車の普及促進		担当部署	環境保全課 全部署
事業内容	1. 公用車の低公害車化	目 標 値	補助台数	
	2. 地球温暖化対策補助制度 (低公害車分) 然ガス自動車またはハイ ド自動車を導入する費用の一部を補助する。 ・対象車種 然ガス自動車, ハイ ド自動車 ※中 車を除く ・補助金 然ガス自動車 14 円 ハイ ド自動車 4 円		然ガス自動車	7 台
			ハイ ド自動車	80 台
		実 績	〔22年度事業費：42,740千円〕	
			1. 公用車の低公害車導入率	
			20年度	15.6%
			21年度	16.2%
			22年度	18.7%
			内	
			車 種	台数
			然ガス自動車	47
			ハイ ド自動車	14
			低 費かつ低排出ガスのガソ ン車	36
			計	97
			2. 補助台数	
			22年度	気自動車 3台
			【目標未達成の理由】	
			2. 然ガス自動車に対する 要が当 見 みより少なかったため。	

No.	19		
実施事業名	柏 交通改善事業	担当部署	交通政策課
事業内容	<p>自家用車から公共交通の利用へと を因るため、柏 における 日の バスの 前 り入れに向けた課題・方 策等を検 する。</p>	実績	<p>[22年度事業費：860千円]</p> <p>20年度 柏 への 日バス 入れ 実 実 を実施</p> <p>21年度 実 実 の課題と整理, 関係 関との協議</p> <p>22年度 同 続</p>

No.	20		
実施事業名	<p>かしわ 合ジャンボタクシー及び かしわ ミ ティーバスの運行</p>	担当部署	交通政策課
事業内容	<p>市内の公共交通空 ・不便地域の解 消, バスの廃止 , 公共施設 への 動手段として, 主に自家用車を利用 しない方の日中の 動方法を確保する ことを目的に, 市の支援により運行す る。</p>	実績	<p>[22年度事業費：47,747千円]</p> <p>・かしわ 合ジャンボタクシー</p> <p>20年度 ジャンボタクシーの運行</p> <p>21年度 運行 ース等の見直し</p> <p>22年度 事業 続</p> <p>・かしわ ミ ティーバス</p> <p>20年度 ミ ティーバスの運行</p> <p>21年度 運行 ース等の見直し</p> <p>22年度 事業 続</p>

No.	21																																																																	
実施事業名	ダイオキシン 総合対策		担当部署 環境保全課																																																															
事業内容	ダイオキシン 対策特別 置法及び柏市ダイオキシン 発生抑制条例に基づき、市内で発生するダイオキシンの発生抑制と削減を図るため、施設の整備や焼却行 の規制・指導及び事業所への立入といった総合対策を推進する。	実績	[22年度事業費：4,009千円] (g /)																																																															
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>調査地点</th> <th>20年度</th> <th>21年度</th> <th>22年度</th> <th>環境基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大室測定局</td> <td>0.0053</td> <td>0.056</td> <td>0.12</td> <td rowspan="14">0.6</td> </tr> <tr> <td>永楽台測定局</td> <td>0.047</td> <td>0.058</td> <td>0.028</td> </tr> <tr> <td>旭測定局</td> <td>0.049</td> <td>0.057</td> <td>0.086</td> </tr> <tr> <td>増尾(私有地)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>井()</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>豊 (私有地)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>山野浄化センター</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>近隣センター</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>南増尾測定局</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>大津ヶ丘測定局</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>手賀 小学校</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小学校</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>大津ヶ丘第一小学校</td> <td>0.064</td> <td>0.092</td> <td>0.037</td> </tr> <tr> <td>西小学校</td> <td>0.071</td> <td>0.061</td> <td>0.047</td> </tr> <tr> <td>ヶ 浄化センター</td> <td>0.064</td> <td>0.087</td> <td>0.046</td> </tr> </tbody> </table> <p>※年4回実施の平均値</p>	調査地点	20年度	21年度	22年度	環境基準	大室測定局	0.0053	0.056	0.12	0.6	永楽台測定局	0.047	0.058	0.028	旭測定局	0.049	0.057	0.086	増尾(私有地)				井()				豊 (私有地)				山野浄化センター				近隣センター				南増尾測定局				大津ヶ丘測定局				手賀 小学校				小学校				大津ヶ丘第一小学校	0.064	0.092	0.037	西小学校	0.071	0.061	0.047	ヶ 浄化センター
調査地点	20年度	21年度	22年度	環境基準																																																														
大室測定局	0.0053	0.056	0.12	0.6																																																														
永楽台測定局	0.047	0.058	0.028																																																															
旭測定局	0.049	0.057	0.086																																																															
増尾(私有地)																																																																		
井()																																																																		
豊 (私有地)																																																																		
山野浄化センター																																																																		
近隣センター																																																																		
南増尾測定局																																																																		
大津ヶ丘測定局																																																																		
手賀 小学校																																																																		
小学校																																																																		
大津ヶ丘第一小学校	0.064	0.092	0.037																																																															
西小学校	0.071	0.061	0.047																																																															
ヶ 浄化センター	0.064	0.087	0.046																																																															

No.	22		
実施事業名	土 汚染対策		担当部署 環境保全課
事業内容	土 汚染対策法に基づき、水質汚濁防止法下水道法の有害物質使用特定施設の廃止 等に、調査結果から有害物質による土 汚染が発見された場合、要 置区域等を指定し、土 浄化対策を推進する。	実績	[22年度事業費：3,440千円] 要 置区域等（平成23年3月31日現 ） ・柏市新 二13 12の一部 (200.0)

No.	23		
実施事業名	地下水汚染対策	担当部署	環境保全課
事業内容	地下水汚染が確認された地区に、汚染の大防止と汚染物質の除去を目的として、除去置を設置稼働させる。	実績	〔22年度事業費：5,562千円〕 地下水汚染物質の除去 4地区5箇所 地区 大 地区 地区 大 地区

No.	24		
実施事業名	発性有化合物の排出抑制	担当部署	環境保全課
事業内容	大気汚染防止法に基づく発性有化合物発生施設に対する規制及び指導を行う。また、柏市発性有化合物の排出及び飛散の抑制のための取組促進条例に基づき、当事業場に対し、排出抑制のための自主的取組計画書及びそれに対する実績報告書を提出させ、発性有化合物の排出抑制にめる。	実績	〔22年度事業費：860千円〕 柏市発性有化合物の排出及び飛散の抑制のための取組促進条例に基づく当事業場9社が「自主的取組計画書」を提出

No.	25			
実施事業名	地下水 取の規制	担当部署	環境保全課	
事業内容	千葉県環境保全条例及び柏市環境保全条例に基づき、一定規 以上の 水施設を持つ者に対して、地下水 取の規制を行い、地 下対策を推進する。	実績	[22年度事業費：2,580千円]	
			地下水 水量	
			20年 20,582,918	
			21年 18,816,062	
			22年 18,053,341	
			用	水量 ()
			工業用	2,485,473
			建築物用	1,268,898
			水道用	10,301,493
			業用	3,634,045
その他	363,432			
合 計	18,053,341			
1日当たり	49,461			

No.	26		
実施事業名	立事業の規制	担当部署	産業廃棄物対策課
事業内容	柏市土 等 立て等規制条例に基づき、立事業の監視・指導を行い、無 名 立てによる土 の 落や土 の 汚染を防止する。	実績	[22年度事業費：19,600千円]
			立事業 件数
			20年度 21件
			21年度 22件
			22年度 14件

No.	27		
実施事業名	産業廃棄物の不適 処理の監視	担当部署	産業廃棄物対策課
事業内容	廃棄物処理法・柏市産業廃棄物不適 処理防止条例の規 に基づく不適 箇所への立入検査・ トロールを実施する。	実績	[22年度事業費：29,400千円]
			立入検査・ トロールの実施 べ日数 238日

No.	28		
実施事業名	産業廃棄物処理施設の規制・指導	担当部署	産業廃棄物対策課
事業内容	<p>廃棄物処理法の規定に基づき、廃棄物処理施設への立入検査を実施し、適な維持・管理を指導する。</p>	実績	<p>[22年度事業費：54,827千円]</p> <p>廃棄物処理施設への立入検査件数 28件</p>

No.	29		
実施事業名	・ 動・ に係る規制・指導	担当部署	環境保全課
事業内容	<p>柏市環境保全条例に基づき、 動・ に係る規制・指導を行う。</p>	実績	<p>[22年度事業費：860千円]</p> <p>続 情件数 20年度 2件 21年度 1件 22年度 1件</p>

No.	30		
実施事業名	浄化槽に係る規制・指導	担当部署	環境保全課
事業内容	<p>浄化槽法に基づき、浄化槽の設置の受理及び適な維持管理指導を行い、公用水域の水質浄化にめる。</p>	実績	<p>[22年度事業費：2,489千円]</p> <p>設置の受理件数 20年度 23件 21年度 10件 22年度 24件</p>

基本方針⑤

資源 環型社会の形成

区分	指標の項目	環境指標	現況値	目標数値
対策	3 の推進	市民一人一日当たりの総 ごみ量	991g/日 (平成 19 年度)	929g/日 (平成 27 年度)
対策	3 の推進	物 持参協力 数	41 店 (平成 19 年度)	72 店 (平成 27 年度)

実施事業の進捗状況（4 事業）

No.	3 1		
実施事業名	グ ー ン 入 調 達 方 針 の 取 組 み		担当部署 環境保全課
事業内容	環境省が作る「環境物 等の調達の推進に関する基本方針」に基づき、環境負荷の低減のため、環境に配慮した物 を 入する。	目 標	グ ー ン 入 率 一用 100% 入費 90% 事務用 90%
		実 績	[22年度事業費：860千円] 1. 一用 平成20年度 ※ 平成21年度 99.8% 平成22年度 100% 2. 入費 平成20年度 94.6% 平成21年度 93.3% 平成22年度 83.9% 3. 事務用 平成20年度 88.6% 平成21年度 87.6% 平成22年度 93.1% ※平成20年度については ルプ配合率 造問題により具体の配合率を示せなかつ たため評価外

No.	32		
実施事業名	ごみ減量資源化	担当部署	廃棄物政策課
事業内容	<p>ごみ減量資源化啓発として次の事業を実施</p> <p>1. 資源回収事業 家庭から排出される ・ビン・金等の資源 を月2回回収 する。</p> <p>2. 生ごみ処理容 入補助 家庭から排出される生ごみの減量を目的に、生ごみ処理容 の 入価 の ン スト・ 容 は1 2, は1 3(上限1 円)を補助する。</p>	目標値	生ごみ処理容 入補助基数 252基
		実績	<p>[22年度事業費：675,310千円]</p> <p>生ごみ処理容 入補助基</p> <p>20年度 270基</p> <p>21年度 240基</p> <p>22年度 156基</p> <p>【目標未達成の理由】 件数が見 みより少なかったため。</p>

No.	33		
実施事業名	園 用廃プラスチックの処理	担当部署	政課
事業内容	<p>柏市園 用廃プラスチック対策協議会では、市内の 業協同組合をとおして業用の生産に利用した廃プラスチックを回 , 処理業者に処理を委託し, イクル等を実施。市内の 家から廃棄される園 用廃プラスチック の適処理を推進する。</p>	目標	回 量 26,000
		実績	<p>[22年度事業費：2,518千円]</p> <p>20年度 回 量 18,850</p> <p>21年度 回 量 16,970</p> <p>22年度 回 量 19,310</p>

No.	34		
実施事業名	湧水の保全	担当部署	環境保全課
事業内容	<p>市内にある5ヶ所の湧水（名戸ヶ ・ 新利根・ ・ ツ・戸 ）の周辺の維持管理を行う。</p>	実績	<p>[22年度事業費：118千円]</p> <p>名戸ヶ り・樹木 定 1回</p> <p>戸 樹木 定 1回</p>

基本目標（分野別目標③）

快適環境—快適な環境をつくる

『四季折々のうるおいとやすらぎのある快適環境をつくり、地域に密着した都市景観の整備に努めます。』

基本方針⑥

う水、 木林、 地などを活かした快適環境の整備

区分	指標の項目	環境指標	現況値	目標数値
対策	公園の整備	一人当たりの公園面積	5.53 m ² /人 (平成 19 年度)	6 m ² /人 (平成 27 年度)

実施事業の進捗状況（5事業）

No.	35			
実施事業名	柏 フ シ 公園整備事業		担当部署	公園緑政課
事業内容	広域の緑の拠点として ミ ティ施設や健康運動広場、 山体感 ーン、 樹林観 ーン等を備えた、柏 フ シ公園を整備する。	目標値	公園整備率 51%	
		実績	[22年度事業費：213,945千円] 整備率 20年度 42% 21年度 53% 22年度 72%	

No.	36			
実施事業名	整備事業		担当部署	公園緑政課
事業内容	歴史的、文化的価値の い建築物や庭園、 面緑地を用いて、柏市の歴史・伝・文化等が再確認できるような「歴史と文化の拠点」として保全・整備し広く市民に公開する。また、生 学習の場や土の伝 , 伝 工 の普及の場として活用する。		実績	[22年度事業費：19,933千円] 来 ・施設利用者数 22,574人

No.	37		
実施事業名	市民 園の整備	担当部署	政課
事業内容	家との交 を通じて 業への理解を めていくことを目的に、市民 園など の 業施設の整備を図る。	実績	[22年度事業費：1,280千円] 市民 園の 水 , 工事等を実施

No.	38		
実施事業名	援 システム推進事業	担当部署	政課
事業内容	人々の活力を 業ボランティア等として 活かした援 システムを推進するた め、 業ボランティア育成講 を実施し 育成等を図る。	実績	[22年度事業費：2,124千円] 業ボランティアの 成 20年度 0人 21年度 15人 22年度 14人

基本方針⑦

魅力のある景観の形成

区分	指標の項目	環境指標	現況値	目標数値
対策	環境美化の推進	煙等 化区域数	1 区域 (平成 19 年度)	2 区域 (平成 27 年度)

実施事業の進捗状況（2 事業）

No.	3 9		担当部署	環境 ービス課
実施事業名	いて防止及び 上 煙 止			
事業内容	1. いて防止キャンペーンを た活動を 会をとらえて実施する。	目 標	いて防止・ 上 煙の 止	
	2. いて防止の啓発事業として、市のイベントに参加する。		〔2 2 年度事業費：9, 9 7 3 千円〕	
事業内容	3. 柏市 いて及び違反ごみ出し防止条例を改 し、たばこの いてにつながる 上 煙を 止するとともに、上 煙を防止するためのキャンペーン等を実施する。	実 績	1. 活動 2 0 年度 月 1 回 2 1 年度 月 1 回 2 2 年度 月 2 回	
	4. 柏 周辺の 煙等 化区域において、違反者に対し、過 の徴 を実施するとともに、柏市内各 において啓発を た トロールを実施する。		2. 2 0 年度 柏 ・柏の葉キャン スにおいて、早 キャンペーンの実施 2 1 年度 南柏・ 柏・増尾・新柏において早 キャンペーンを実施。 柏 で いて防止キャンペーンを実施 2 2 年度 柏の葉キャン ス・ 柏 ・南柏 において早 キャンペーンを実施	
			4. 2 0 年度 過 件数 2 6 6 件 2 1 年度 過 件数 9 1 3 件 2 2 年度 過 件数 5 1 2 件	

No.	40		
実施事業名	不法 棄防止の推進		担当部署 環境 ービス課
事業内容	<p>市内における不法 棄対策の根拠として明文化された「柏市不法 棄対策条例」により設けられた「不法 棄対策協議会」を中心に、啓発活動・防止対策・事 対策・情報共有化を主 とした各対策の実施に取り組んでいる。</p> <p>環境美化の推進と な生活環境の保全を図るため、市民、土地所有者、事業者及び関係 関との協働により、不法 棄対策の推進に める。</p>	実績	<p>〔22年度事業費：13,813千円〕</p> <p>1. トロール</p> <p>20年度 1回及び通報時特別 トロール(間含む)年10回</p> <p>21年度 日中 トロールを 活動と併せて 時実施 間特別 トロールを ベ6日間実施</p> <p>22年度 日中 トロールを 活動と併せて 時実施 間特別 トロールを ベ6日間実施</p> <p>2. 特別回</p> <p>20年度 柏・ 沼南地区において各1箇所実施</p> <p>21年度 柏・ 沼南地区において各1箇所実施</p> <p>22年度 柏・ 沼南地区において各2箇所実施</p> <p>3. 不法 棄防止カメラ</p> <p>20年度 常習地区の防止カメラによる監視とカメラの管理を 続中</p> <p>21年度 常習地区の防止カメラによる監視とカメラの管理を 続中 1箇所の防止カメラを新たな常習地区対策として 設</p> <p>22年度 常習地区の防止カメラによる監視とカメラの管理を 続中 1箇所の防止カメラを新たな常習地区対策として 設</p>

基本目標（分野別目標④）

地球環境—地球市民としての意識を育む

『地域環境を守ることが、ひいては地球環境を守ることであるとの意識を持ち、地球市民として、地球温暖化対策、オゾン層の保護、酸性雨対策などの推進に努めます。』

基本方針⑧

地球環境の保全

区分	指標の項目	環境指標	現況値	目標数値
負荷	温室効果ガス 排出量の削減	二酸化炭素排出量	2,378,000t-CO ₂ (平成 16 年度)	2,077,000t-CO ₂ (平成 27 年度)
対策	温室効果ガス 排出量の削減	省 CO ₂ まちづくりアクシ ンエ アの数	— (平成 19 年度)	6 件 (平成 27 年度)

実施事業の進捗状況（9事業）

No.	41	
実施事業名	環境保全協定の 結	担当部署 環境保全課
事業内容	市と事業者が連携を図りながら環境に優しいまちづくりを推進していくため、事業活動における環境配慮の取組等を定めた環境保全協定を、市内の事業者と結していく。	[22年度事業費：2,580千円] 環境保全協定の 結 実績 20年度 0事業所 21年度 1事業所 22年度 12事業所 (合計111事業所)

No.	42									
実施事業名	柏市地球温暖化対策計画の推進	担当部署	環境保全課							
事業内容	<p>柏市地球温暖化対策条例第7条に基づき策定された本計画をもとに、市民、事業者、市が協働して地球温暖化対策に取り組む、温室効果ガスの排出抑制に向けて、日々の活動やまちづくりを推進することにより、市の定める削減目標の達成に努めていく。</p>	目標	平成20年から平成24年までの1年当たりの平均値を平成2年の温室効果ガス排出量と比して6%以上削減。							
		実績	<p>[22年度事業費：2,580千円]</p> <p>温室効果ガス排出量</p> <table border="0"> <tr> <td>平成2年度</td> <td>2,140千</td> <td>-CO2</td> </tr> <tr> <td>平成20年度</td> <td>2,149千</td> <td>-CO2</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td colspan="2">0.4%増</td> </tr> </table>	平成2年度	2,140千	-CO2	平成20年度	2,149千	-CO2	増減
平成2年度	2,140千	-CO2								
平成20年度	2,149千	-CO2								
増減	0.4%増									

No.	43		
実施事業名	スト ンプ温暖化 ーター (O) 事業	担当部署	環境保全課
事業内容	<p>市域での温暖化対策の取組みを広げていくため、平成21年度より市民(ーター)と協働して、温暖化対策事業を推進していく。</p>	実績	<p>[22年度事業費：3,307千円]</p> <p>12月の地球温暖化防止月間にあわせ、かしわ環境フェスタ2010を開催。緑のカーテンやエ ードライ の表彰、エ ライフの講 を行った。</p>

No.	44								
実施事業名	低炭素まちづくり事業	担当部署	環境保全課						
事業内容	<p>地球温暖化対策計画における面的対策を推進していく。</p> <p>〔面的対策の 組み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アクションエ ア <p>まちづくりの気運の いエ アで面的に低炭素化を実行する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発事業者の環境配慮制度 <p>一定規 以上の開発行 に対して配慮を要 する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築物環境配慮制度 <p>建物の新築時に、事業者自ら環境配慮の取組みを評価し、市がこれを公表する。</p>	実績	<p>〔22年度事業費：1,720千円〕</p> <p>〔アクションエ アの指定〕</p> <table> <thead> <tr> <th>エ ア名</th> <th>指定日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柏の葉キャン ス 隣接地</td> <td>20,12月</td> </tr> <tr> <td>部中 地区小学校</td> <td>21,2月</td> </tr> </tbody> </table>	エ ア名	指定日	柏の葉キャン ス 隣接地	20,12月	部中 地区小学校	21,2月
エ ア名	指定日								
柏の葉キャン ス 隣接地	20,12月								
部中 地区小学校	21,2月								

No.	45		
重点事業名	柏市エ アクシ ンプランの推進	担当部署	環境保全課
事業内容	<p>柏市では、「地球温暖化対策の推進に関する法」に基づき、温室効果ガス排出量削減を目標とした柏市エ アクシ ンプランを平成12年度から取り組み、柏市エ アクシ ンプラン（第2期）を平成19年5月に改訂しましたが、より一 の温室効果ガス排出量の削減を目指し、員による省エネ行動の 化に加え、市保有施設・設備への新エネルギー・省エネルギー対策を積極的に導入する新柏市エ アクシ ンプランを平成20年4月に新たに策定しました。</p>	目標	<p>温室効果ガス排出量（CO₂量）を平成19年度実績値を基準として、平成23年度までに20%以上削減する。</p>
		実績	<p>〔22年度実績：12,298千円〕</p> <p>1 温室効果ガス排出量 30,438,340 kg-CO₂(基準年比 5.47 減)</p> <p>2 気使用量 61,511,970k h (基準年比 7.33 減)</p> <p>3 水使用量 1,029,229 (基準年比 3.31%減)</p> <p>4 都市ガス使用量 2,702,855 (基準年比 10.05 増)</p> <p>5 ガス使用量 129,649 (基準年比 15.25 減)</p> <p>6 ガソ ン使用量 279,196 (基準年比 13.56%増)</p> <p>7 使用量 157,747 (基準年比 26.06 減)</p> <p>8 使用量 353,130 (基準年比 16.45 減)</p>

No.	46		
実施事業名	柏市地球温暖化対策補助		担当部署 環境保全課
事業内容	<p>宅用地球温暖化対策 ， 低公害車及びアイドリングストップ装置の導入費用の一部を補助する。</p> <p>・補助金</p> <p>宅用 光発電システム 1 あたり 2.5 万円 (上限 7.5 万円)</p> <p>利用 4 万円</p> <p>気自動車 6 万円</p> <p>ハイブリッド自動車 6 万円</p>	実績	<p>[22年度事業費：17,160千円]</p> <p>補助件数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宅用 光発電システム 336 件 ・ 利用 2 件 ・ 気自動車 3 台 ・ ハイブリッド自動車 0 台

No.	47		
実施事業名	上・面緑化の指導		担当部署 公園緑政課
事業内容	<p>開発行等において緑化指導するうえで、市街地における緑化啓蒙を図るため上・面緑化を含めた指導をする。</p>	実績	<p>[22年度事業費：2,120千円]</p> <p>緑地面積確保のため、開発行等において上・面緑化等の指導を実施。</p>

No.	48		
実施事業名	柏市総合交通計画の策定	担当部署	交通政策課
事業内容	少子高齢化や地球環境への配慮などの社会情勢の変化と地域的課題を踏まえた総合的な視点から、市民のための将来の望ましい交通計画を策定する。	実績	〔22年度事業費：17,200千円〕 20年度 ・柏市の交通の現況と今後の課題の把握 ・目標と基本方針の設定 21年度 施策の検 22年度 行動計画の検

No.	49		
実施事業名	地球環境保全の啓発	担当部署	環境保全課
事業内容	環境基本法において、6月5日を「環境の日」と定めているところから、柏市環境基本条例で6月を環境の月と定め、環境の保全及び活動を推進するための啓発事業を実施する。	実績	〔21年度事業費：2,580千円〕 20年度 「ストップ・温暖化展」 21年度 「名戸ヶ びオトープ展示会」 22年度 「地球温暖化防止への取り組みと生物多様性 ネル展」

基本目標（分野別目標⑤）

市民との協働－市民とともにつくる環境

『市民、事業者、民間団体、市が主体的に、良好な環境を保全・創造して、次世代に引き継ぐように努めます。』

基本方針⑨

市民・事業者の主体的な活動の推進

区分	指標の項目	環境指標	現況値	目標数値
対策	市民参加型環境保全事業の推進	市が民間 体に委託する環境保全に関する事業数	9 事業 (平成 19 年度)	9 事業 (平成 27 年度)

実施事業の進捗状況（8 事業）

No.	50		
実施事業名	名戸ヶ 湧水ビオトープの活用		担当部署
事業内容	身近な湧水池，生物の生息空間として整備した名戸ヶ ビオトープにおいて，名戸ヶ ビオトープを育てる会と協働して，生態系調査及び自然観 会などの環境学習事業を実施する。	実績	〔22年度事業費：5,092千円〕 1. 生態系調査 20年度 2回 21年度 2回 22年度 2回 2. 自然観 会 20年度 2回 21年度 2回 22年度 2回

No.	51		
実施事業名	井根下 の の管理	担当部署	公園管理課
事業内容	市民が積極的に緑地の管理や 作業等に参加する 会をつくり，市民の自然に対する意 と協力によって，管理運を行う。	実績	〔22年度事業費：1,473千円〕 井根下 の において，市民参加の管理を実施。

No.	52		
実施事業名	環境配慮指針の作成	担当部署	環境保全課
事業内容	事業者が事業活動の中で環境に配慮すべき事項を示し，環境保全活動を一 促進することを旨とする。	実績	〔22年度事業費：860千円〕 開発事業者への指導にあわせて，環境配慮の指導を行った。

No.	53		
実施事業名	環境配慮の 組みづくり	担当部署	環境保全課
事業内容	市民・事業者の主体的な取組みにより，環境負荷低減を目指す。	実績	〔22年度事業費：860千円〕 取り組み主体として，市民等のかしわ環境ステーションの他，スト プ温暖化 ーター・柏の葉街エ 推進協議会，柏市環境保全協議会加入事業者などにより環境配慮活動が行われている。

No.	54		
実施事業名	こどもエ クラ の推進	担当部署	環境保全課
事業内容	環境省が実施している，小・中学生を対象にした環境活動クラ 「こどもエ クラ 」の活動を推進する。	実績	〔22年度事業費：860千円〕 数 20年度 4 体 21年度 5 体 22年度 7 体

No.	55		
実施事業名	環境活動リーダーの育成	担当部署	環境保全課
事業内容	地域の環境学習及び の場として南部ク ーセンタ ー内に「かしわ環境ステーション」を設置し、環境情報のや発 のほか、市民との協働による環境学習を推進するため、市民による市民のための環境学習プログラムを実施する。	実績	〔22年度事業費：860千円〕 運 協議会で環境学習等の事業を実施 ・プログラムの実施 20年度 21回 21年度 22回 22年度 20回

No.	56		
実施事業名	〇認 取 の支援	担当部署	工 課
事業内容	中小 業を対象に、 〇認 取 費用の一部を助成し、中小 業の活性化を推進することにより柏市経 の活性化に与する。 ※当事業は22年度にて しました ・対象事業 国際標準化 構が定める規 S09000 シ ー 又は S014000 シ ー の認 取 事業 ・対象経費 備 査手数 及び本 査手数 ・補助金の 対象経費の1 2 (限度 30 円)	実績	〔22年度事業費：2,620千円〕 〇認 取 補助件数 20年度 3件 21年度 4件 22年度 3件

No.	57		
実施事業名	市民等ネットワークの推進	担当部署	環境保全課
事業内容	「かしわ環境ステーション運営協議会」を平成17年8月に設立し、市民や学校、業など多様な主体が連携して、地球環境を考え、様々な取り組みを行っている。	実績	〔22年度事業費：4,592千円〕 ・環境部会 環境シンジウムの開催、環境一タベースの作成など ・環境学習部会 自然観会、エリ室など ・情報交部会 ステーションフェスタ、環境ネル展など

基本方針⑩

次を担う子どもたち、現を支えている人たちへの環境育の実

区分	指標の項目	環境指標	現況値	目標数値
対策	環境学習の推進	環境学習の実施回数	98回 (平成19年度)	120回 (平成27年度)

実施事業の進捗状況（7事業）

No.	58		
実施事業名	学校環境学習の支援	担当部署	指導課
事業内容	総合的な学習の時間、生活科、理科、社会科及び国科等環境を材にする科学習の際に、環境学習支援の視点での助言指導を行う。また、特別活動及び学校行事等でも生かせる内容等を、要訪問の際に伝達する。	実績	〔22年度事業費：172千円〕 指導要訪問 20年度 7回 21年度 10回 22年度 9回

No.	59		
実施事業名	省エネ意 の効用と啓発	担当部署	指導課
事業内容	各学校の光 水費削減を目的とした効果的な省エネルギー活動及び学習の実事例をまとめ、小中学校に広く し、省エネ意 の啓発を図る。	実績	[22年度事業費：430千円] 実 事例 学校数 22年度 61校

No.	60		
実施事業名	環境の月事業	担当部署	環境保全課
事業内容	環境基本法において、6月5日を「環境の日」と定めているところから、柏市環境基本条例で6月を環境の月と定め、各部署において環境に関連した事業を実施する。	実績	[22年度事業費：860千円] 環境の月実施事業 20年度 18回 21年度 13回 22年度 15回 (手賀沼船上見学、環境 ネル展、エ 理 室)

No.	61		
実施事業名	自然環境啓発事業	担当部署	環境保全課
事業内容	手賀沼に生息及び飛来する野 の観を通じて、沼とその周辺の自然環境の保全に対する啓発を図るため、手賀沼船上会を実施する。	実績	[22年度事業費：258千円] 参加者数 20年度 35人 21年度 35人 22年度 30人

No.	62		
実施事業名	地域環境学習の支援	担当部署	生 学習課
事業内容	市民 体が主催する学習会等に市 員等が出向き、市政の説明、 を生かした実習等を行う「生 学習まちづくり出前講 」を実施する。	実績	〔22年度事業費：86千円〕 環境関連講 の実施 20年度 6件 21年度 5件 22年度 1件

No.	63		
実施事業名	ごみ減量啓発	担当部署	廃棄物政策課
事業内容	ごみ減量啓発として次の事業を実施 1. 施設見学会 市内ごみ処理施設等の見学会を、主に町会等の市民 体を対象に実施する。 2. ごみ減量説明会 町会等に出向き、ごみの分別・減量資源化に関する説明をする。 3. 環境（ごみ）学習 小学校に出向き、ごみ減量・ イクルについて、 ーム等を交えながら説明する。 4. ごみ減量広報 による 年2回、ごみ減量広報 を発行することにより、ごみ減量について を行う。	実績	〔22年度事業費：10,638千円〕 1. 施設見学会 20年度 35回 21年度 24回 22年度 23回 2. ごみ減量説明会 20年度 5回 21年度 6回 22年度 9回 3. 環境（ごみ）学習 平成20年度 16回 平成21年度 20回 平成22年度 21回 4. ごみ減量広報 の発行 平成20年度 2回 平成21年度 2回 平成22年度 2回

No.	64		
実施事業名	環境情報の提供	担当部署	廃棄物政策課 環境保全課
事業内容	広報かしわにより　　を行う。	目標値	環境関連　事の　　：15回
		実績	〔22年度事業費：86千円〕 環境関連　事の 20年度　69回 21年度　49回 22年度　48回

基本方針①

県や近隣市町との連携

区分	指標の項目	環境指標	現況値	目標数値
対策	県や近隣市町との連携による環境保全対策の推進	県や近隣市町と連携して組 する環境保全にかかる協議会の数	5 事業 (平成 19 年度)	5 事業 (平成 27 年度)

実施事業の進捗状況（1 事業）

No.	6 5		担当部署	環境保全課
実施事業名	手賀沼水環境保全協議会			
事業内容	<p>手賀沼の水質浄化を目的に、千葉県と手賀沼 域の 7 市で手賀沼浄化事業連合会を組 し、各種浄化対策を実施する。</p> <p>【主な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水生植物再生事業 ・市街地排水浄化対策 ル事業 ・ク ーン手賀沼 スター展の開催 ・啓発用 スターや ンフ トの配布など 	実績	<p>[2 2 年度事業費：1 7, 7 9 1 千円]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ガシヤ ク等の水生植物の をミ 手賀沼へ植 した。 ・ミ 手賀沼で 害対策を た生き物調べを行った。 ・スター ンクール入 作 を県 , 手賀沼親水広場, 柏市等で展示（1 月 3 月）。 ・啓発用 スターや ンフ トを関係 関に配布。 	

基本方針⑫

環境基本計画の推進と評価システムの構築

区分	指標の項目	環境指標	現況値	目標数値
対策	環境基本計画の推進	各指標の達成率	— (平成 20 年度)	100% (平成 27 年度)

実施事業の進捗状況（4 事業）

No.	66		
実施事業名	環境基本計画の推進	担当部署	環境保全課
事業内容	環境基本計画で定める望ましい環境像の実現に向けて、重点事業を定める。	実績	〔22年度事業費：4,815,643千円〕 実施事業数 20年度 32事業 21年度 72事業 22年度 69事業

No.	67		
実施事業名	環境マネジメントシステムの推進	担当部署	環境保全課
事業内容	環境負荷の低減や 員の環境保全意の向上を図るため、平成20年度に柏市独自の環境マネジメントシステム（ ）の運用を開始。 環境マネジメントシステムでは、環境基本計画の重点事業などを環境目標として設定し、その達成度を エ クすることにより、環境保全施策を効果的に進行管理する。	実績	〔22年度事業費：5,160千円〕 20年度 柏市独自の環境管理システム（ ）の運用を開始 21年度 外部環境監査員からの提言等を受け、様 を改訂。 22年度 環境方針の改訂

No.	68		
実施事業名	環境 書・年次報告書の作成	担当部署	環境保全課
事業内容	市民意見を取り入れ反 していくため、市内の環境の状況や環境保全施策についてとりまとめ、環境 書や年次報告書として作成し公表する。	実績	〔22年度事業費：2,580千円〕 ・平成22年9月に年次報告書（本子）を作成し、ホームページ等で公表 ・平成22年12月に環境 書を作成し、ホームページで公開

No.	69		
実施事業名	市民意見の反	担当部署	環境保全課
事業内容	柏市環境基本条例に基づき、環境基本計画の他、環境の保全及び 造に関する重要な施策を定める際に、案を公表し、市民の意見を り入れる。	実績	〔22年度事業費：860千円〕 平成21年度環境報告書（案）について、ホームページ等で公表し、市民から意見を した。（9 3 10 1）

ご意見をお寄せ下さい

柏市では、毎年、環境基本計画の取組状況を公表し、皆様からの意見を環境施策に反映させていきます。

つきましては、本書について、皆様からのご意見をお待ちしております。

○閲覧方法

報告書の内容は市のホームページ、環境保全課、図書館本館・分館、本庁舎行政資料室で見ることができます。

○応募方法

「環境報告書への意見」と明記し、住所・氏名・電話番号及び意見（様式は自由です）をご記入の上、平成23年12月31日までに郵送、FAX又はメールにて、下記提出先までお寄せ下さい。

提出先

柏市 環境部 環境保全課

〒277-8505 柏市柏5-10-1

電話 04-7167-1695

FAX 04-7163-3728

Eメール -k k .ka h a. g.



平成23年9月

発行 柏市
編 環境部環境保全課